

# 奥出雲町ケーブルテレビ 横田地域放送開始式

新町建設計画の主要プロジェクトとして工事が進められていた横田地域のケーブルテレビ事業が竣工し、十二月十五日、横田コミュニティセンターにおいて放送開始式が行われました。



式辞を述べる岩田町長

整備方式は、センターから加入者の各家庭まで光ファイバーを引き込む最先端の技術（FTTH方式）を活用し、従来のNHK、民間放送に加え町の出来事や議会中継等を行う自主番組、衛星放送、気象情報番組、広島ホームテレビテレビ朝日系)等多くの番組が視聴可能となり、また地上デジタル放送に対応しました。これにより横田地域の二十

五以上の難視聴地域が解消され、地域に密着した番組等が鮮明な画像でご覧頂けるようになりました。また町内での通話料が無料の有線放送電話、IP電話、超高速インターネット網の整備も併せて行いました。今回の総事業費は約十六億四千万円で、国の三分の

一の補助と残額の七割を国が負担する有利な起債を活用しました。仁多地域については来年度FTTH方式に移行する計画です。

式典には、総務省中国総合通信局の安村局長はじめ来賓を迎え横田地域の自治会長、各団体の代表など約百六十人が出席し、最新の情報環境整備を喜び合いました。この開始式の模様は、奥出雲町情報通信協会で生放送され、事業の竣工に華を添えました。

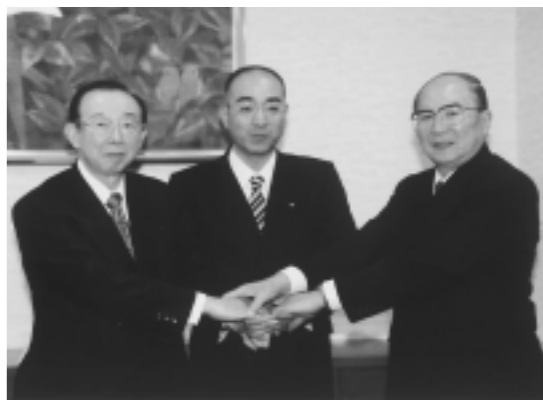
## お願い

情報基盤の一体的な整備に伴い今後、横田地域にも情報通信協会のスタッフが取材にうかがう機会が増えると思えますので、ご協力方よろしくお願いいたします。

また、町民の皆様からの情報提供、取材依頼、機器、端末の故障も随時受け付けています。

電話 54 2525  
31 5350

# 東洋製鉄が工場を増設 地域経済の活性化に期待



上阿井の東洋製鉄出雲仁多工場が工場の増設を行うことになり、十一月二十七日、県庁において立地計画認定書の交付並びに覚書の調印式が行われました。

東洋製鉄は、平成三年に鉄鉄、鋳物製造工場として旧仁多町に進出、平成七年には第二工場が増設され、主に建設機械用のバランスウエイト作業機械の転倒や傾きを防止する鋳物製の重りを生産する国内屈指のメーカーです。

この度、中国をはじめ海外からの建設機械の需要増大と国内、欧米で排ガス対策として建設機械や産業用車両の買

い替え需要があることから工場の増設となりました。今回の計画では、新たに約一万九千平方メートルの用地を取得し、鉄筋平屋建て、約二千平方メートルの工場を新設して製品の加工・検査部門を強化・集約します。

投資額は三億五千万円で、操業後三年までに十七人を新規雇用し、年間生産量の二十増を計画しています。

調印式では、音頭社長、澄田知事、岩田町長の三者で覚書に調印し、地域経済の活性化を期待してがっちり握手が行われました。

# 合併一周年を祝う NHK「ふるさと自慢った自慢」

## 公開録音

奥出雲町合併一周年並びに横田地域のケーブルテレビ放送開始を記念して十二月十五日、町民体育館においてNHKラジオの人気番組「ふるさと自慢った自慢」の公開録音が行われました。

番組は二部構成で第一部の「ふるさと自慢った自慢」では、町内の歌自慢六人が男女二チームに分かれ、仁多米、仁多牛、奥出雲そば、仁多乃

炎太鼓など奥出雲町が全国に誇るふるさと自慢をしてから持ち歌を披露しました。

参加者は普段からかなり歌い込んでいる方もあり、審査は接戦となりましたが今回は男性チームが勝ちとなりました。

この第一部では、全国に奥出雲町の様々な特産品や魅力を紹介することができました。

第二部では、ヒット曲「新聞少年」で知られる山田太郎さん、「だんな様」、「他人船」でお馴染みの三船和子さんによる「ふるさと自慢コンサート」が行われました。

プロ歌手の熱唱に、会場に詰めかけた八百人を超える観衆は大いに盛り上がり、賑やかなイベントとなりました。今回収録された番組は、二月十一日、十八日の二日に分けて午後七時二十分よりNHKラジオで放送されます。

山田太郎さんの熱唱



三船和子さんのステージ

なお、第一部「ふるさと自慢った自慢」に出演されたのは、次の方々です。深田英治さんが個人賞を受賞されました。

- 岩田 孝 史さん
- 児玉 八重子さん
- 深田 英 治さん
- 佐野 一 美さん
- 藤原 友 征さん
- 石金 喜美子さん

# シーズン中の安全と雪こい 三井野原スキー場開き

十二月二十三日、三井野原スキー場で恒例のスキー場開きが行われました。

神事には、三井野原観光協会や地元の関係者、来賓として山下助役をはじめ雲南警察署、奥出雲消防署、JR木次鉄道部の代表者など約三十人が出席しました。

参加者は玉串を供え、スキーシーズン中の安全、多くのスキー客の来訪や地域の発展等を願い、また今年も昨年の様な積雪が無いことから、雪こいも併せて行われました。

三井野原スキー場は、幅広い世代が楽しめるグレンデとJR木次線・国道三三四号からのアクセスがよく、また昨年、奥出雲町発足に伴い、町営リフト、スキースクールの料金を大幅に値下げしたこともあり、昨年多くのスキーヤーが訪れました。



シーズン中の安全を祈る参加者

本格的なスキーシーズンを迎え、今年もたくさんの方々がスキーヤー、ボーダーで賑わってほしいものです。